

南島原市ニュース

令和5年4月12日

タイトル ヴァリニャーノ巡察師書籍を発刊しました

本市とイタリア キエーティ市の友好都市提携5周年を記念し、イエズス会の巡察師として日本へ派遣されたアレッサンドロ・ヴァリニャーノ（キエーティ市出身）の出生から日本での功績を8章でまとめた書籍「ヨーロッパが日本に出会ったとき」を発刊しましたので、下記のとおり記者発表を開催します。

イエズス会日本管区長のレンゾ・デ・ルカ氏をはじめ3名の有識者の寄稿で構成しています。

また、本書は日本とイタリアの2カ国での共同執筆であり、キエーティ市でも今後イタリア語版が発刊される予定です。

記

■日 時 4月18日(火) 午後4時～4時45分予定

■場 所 南島原市役所西有家庁舎3階大会議室

※詳細は別添資料をご確認ください。

担当部署	地域振興部 地域づくり課	担当者	松浦/カルローニ・エマヌエーレ・エルコレ
直 通	0957-73-6631	E mail	chiikishien@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは <small>☎</small>		検索ワード	
担当者 連絡先			

『ヨーロッパが日本に出会ったとき アレッサンドロ・ヴァリニャーノ
1539年-1606年キエーティで生まれマカオに没す』書籍発刊記者発表次第

- 1 日 時 4月18日(火) 午後4時～4時45分
- 2 場 所 南島原市役所西有家庁舎3階大会議室
- 3 出席者 有識者 高祖 敏明氏 (上智学院前理事長)
執筆者 末永 透氏 (NPO法人ありま南蛮)
執筆者 クラウディオ・カニーリア氏
(にっぽんアブルッツォ協会会長 イタリアとオンライン出席)
主催者 南島原市長 松本政博
通 訳 南島原市国際交流員 カルローニ・エマヌエーレ エルコレ
- 4 内 容 以下のとおり
 - (1) 市長挨拶
 - (2) アレッサンドロ・ヴァリニャーノ書籍「ヨーロッパが日本に出会ったとき」
記者発表
 - ① 書籍の内容、発行まで経過などの概要を説明
 - ② 有識者コメント 高祖 敏明氏 (上智学院前理事長)
 - ③ 執筆者コメント 末永 透氏 (NPO 法人ありま南蛮)
 - ④ 執筆者コメント クラウディオ・カニーリア氏 (にっぽんアブルッツォ協会副会長)
 - (3) 質疑

「ヨーロッパが日本に出会ったとき アレッサンドロ・ヴァリニャーノ
1539年ー1606年キエーティで生まれマカオに没す」 発刊記者発表資料

- 1 書籍名 : ヨーロッパが日本に出会ったとき アレッサンドロ・ヴァリニャーノ
1539年ー1606年キエーティで生まれマカオに没す
- 2 発行者 : 南島原市
- 3 執筆者 : 南島原市 NPO 法人ありま南蛮 佐藤光典、末永 透
キエーティ市 ●前につぼんアブルッツォ協会会長
マリーサ・ディ・ルツォ(故)
●につぼんアブルッツォ協会会長
クラウディオ・カニーリア
●キエーティ大学教授
イレーネ・フォーシ
●キエーティ大学教授
ジョヴァンニ・ピッツルツォ
- 4 出版社 : 株式会社長崎文献社
- 5 規格 : A5 版、フルカラー、111 ページ
- 6 配布先 : 南島原市内図書館等、関係団体等
- 7 記者発表への同席者
有識者 上智学院前理事長 高祖敏明氏
執筆者 NPO 法人ありま南蛮 末永透氏
につぼんアブルッツォ協会会長 クラウディオ・カニーリア氏
(イタリア キエーティ市とオンライン中継)
通 訳 南島原市国際交流員 カルローニ・エマヌエーレ・エルコレ
- 8 書籍の概要

本書は南島原市とイタリア キエーティ市の友好都市提携 5 周年を記念して発行した。イエズス会の巡察師として日本へ派遣されたイタリア キエーティ出身のアレッサンドロ・ヴァリニャーノの出生から日本での功績を 8 章でまとめている。

本書は日本とヨーロッパとの出会いの中で、日欧の文化融合を推進した背景をイタリア側が執筆を担当し、日本におけるヨーロッパ文化の導入とヴァリニャーノの足跡は南島原市側が担当するなど日本とイタリアの 2 カ国での共同執筆である。さ

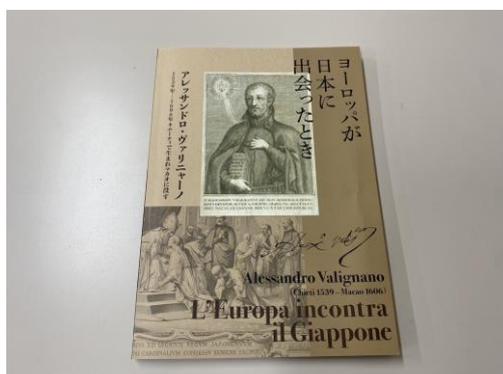
らにイエズス会日本管区長のレンゾ・デ・ルカ氏をはじめ 3 名の有識者の寄稿で構成している。南島原市におけるキエーティ市との友好交流、セミナリヨの授業再現、平成・令和遣欧少年使節派遣などヴァリニャーノがもたらした歴史・功績を 420 年後の現代に活用し、将来に向けた南島原市の取り組みも紹介した。

執筆にあたり両市ではインターネットでのオンライン会議を開き構想・役割分担の協議を重ねた。オンライン会議をはじめイタリア語の微妙な表現などに調整を要した出版である。

ヴァリニャーノは日本が戦国時代の 1579 年に南島原市の口之津港に上陸し、当時の有馬領を拠点に日本で初めてのヨーロッパ派遣団「天正遣欧使節」派遣、有馬のセミナリヨ創立により多くの国際人を生み出した。当時の日本で多くの困難が待ち受ける中、織田信長・豊臣秀吉など時の為政者と渡り合い、日本とヨーロッパを結び付けた。本書はヴァリニャーノが掲げた融合政策は、国際化が進む現代でも参考となるべき方針であること紹介した書籍である。

9 南島原市からのコメント

今回、発行した日本語版の本書は、2023 年 8 月ころには共同執筆したキエーティ市側でもイタリア語版で発行予定である。キエーティ市民への啓発をはじめキエーティ大学では教本として活用することとなっている。2 か国語での発行によりヴァリニャーノの功績を両国で顕彰し、両市の更なる友好・発展の一助となることを期待している。



キエーティ市とのリモート会議の様子

10 本件に関する照会先：

南島原市地域振興部地域づくり課

TEL 0957-73-6631

Eメール chiikishien@city.minamishimabara.lg.jp